

# 時空を超えて了聞

増上寺の子院として500年の歴史を持つ瑞華院。その港区南麻布という特別な地に、近代的な設備を整えた都市型納骨堂「了聞」が建立されました。自然の光に溢れる上質な空間は、故人に祈りを捧げるだけでなく、現世に生きる人々の絆を感じ、縁をつなぐ大切な場所となるでしょう。





1. 建築家竹原義二氏による和洋を心地よく融合させた建築デザインは「納骨堂」のイメージを覆す、華やかでかつ落ち着いた空間を実現している。2. 南麻布の街の景観に自然に馴染む、明るく開放的なエントランス。洗練されたホスピタリティで訪問者をもてなしてくれる。3. 受付で会員カードをかざすことで、予約された個室（右手モニターに表示）へと故人のご遺骨を搬送するシステムを導入。4. 南麻布の街並みを見晴らすことが出来る上質な空間で寛ぎのひとときを。5. 大小全ての参拝室が個室で用意される「了聞」。誰にも邪魔されず故人と向き合うことが出来る。※左手にあるのはご遺骨が収蔵された厨子（展示用サンプル、参拝時には無い）。6. 伝統的な組木細工によって彩られた、荘厳な吹き抜けが訪れた人の心を和ませる。7. 隣接する料亭「分とく山」とも提携。家族や友人との団欒をより充実させてくれる。

了聞

#### Information

了聞 りょうもん

港区南麻布5-1-4  
TEL 03-6408-7880  
東京メトロ 日比谷線 広尾駅4番出口 徒歩約5分  
東京メトロ 比谷線 六本木駅 徒歩約12分  
都営地下鉄 大江戸線 六本木駅 徒歩約15分

楽しめるかということを考えたい、そんなことからこの場所は写経やヨガ、音楽教室などの催しが出るようになっていきます。現世の方々、亡くなられた方を御供養するのが法事と考えられる方も多いかと存じますが、同時に亡くなられた方も、残されたご家族、ご友人の行く末を案じておられます。その絆を感じ、ご縁を結ぶ場所をご提供いたします。そのため、ご親族やご友人が、楽しく思い出を綴れるように、ご会食の場所、家族写真を撮る場所としてもご利用いただければと思います。

「了聞」は檀家が集まるためだけのものではなく、納骨されたご家族のためだけのものでもありません。長き歴史を引き継ぐ本堂もあり、阿弥陀さまもいらっしゃいます。どなたでも分け隔てなくいらしていただき、御祈りを捧げていただければ幸いです。



了聞 徳譽威人上人

「徳川家三つ葉葵」を冠する  
現代の都市型納骨堂「了聞」

瑞華院は明応元年（1492年）浄土宗大本山・三縁山広度院増上寺の子院として開設された由緒ある寺院です。開祖「天譽了聞（てんよりょうもん）」上人は増上寺の法主第五世を務められました。明治三十三年、芝から麻布に移転された瑞華院の建物は東京大空襲により焼失しましたが、本尊である阿弥陀如来像、並びに開山当時から残る天譽了聞上人像は奇跡的に戦火を免れ、現在も瑞華院に安置されています。増上寺は代々徳川將軍家の菩提寺として定められ、増上寺が当時子院であった瑞華院ともに、徳川家の御紋三つ葉葵を冠する所以です。その後、檀家寺という形で門戸を閉ざしていましたが、代が変わり、地域の方々のお役に立つために、納骨堂を作つてはと考え、この「了聞」が建立されました。お寺が命を終える時だけにしか関わりを持つことが少ない昨今、常日頃から足を運んでいただける空間を造りたいという想いから「了聞」は陽の光、風、水の流れなど存分に自然を感じられる、これまでにない納骨堂になっています。

御供養をされるだけでなく、今を生きるご家族がどのように人生を